

科目名称 (Subject)				担当教員 (Teacher)	
国際フィールドワークII				張 明軍	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	1 単位	2 年次	集中講義	無	
授業の概要 (Course Description)					
<p>グローバルな人材に相応しく、日本の地域問題を外国の人々と議論する力を養います。この授業では特に、これからのグローバル化のなかで大きな影響力を持つてくるとされる中国について、理解を深め交流するため、中国での日常会話の能力を身につけ、中国の文化・風習にも慣れ親しむことを図ります。なお、国際フィールドワークIの6月の中間試験の成績優秀者の中から希望者数名を大学の経費で、教員数名が引率して、本学が交流を行っている中国の大学へ9月に訪問する予定ですが、この中国訪問を希望するものは、必ず本科目も履修してください。また、「中国語 I、II」を履修した方にも、この授業はまた違った形での復習になると思いますので、中国訪問にかかわらず、中国語に関心のある方に受講をお勧めします。また中国語をいままでまったく履修していない人にも、配慮して授業を進めます。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
中国の日常会話を理解し、中国語によって中国の人々と交流できること。					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション&中国の概況 (地理、歴史など)				
第 2 回	中国語実践：移動に関する会話内容(1) (空港、タクシー)				
第 3 回	中国語実践：移動に関する会話内容(2) (電車、地下鉄、バス)				
第 4 回	中国語実践：宿泊に関する会話内容 (ホテル、学生寮)				
第 5 回	中国語実践：食事に関する会話内容(1) (中国レストラン、歓迎会)				
第 6 回	中国語実践：食事に関する会話内容(2) (学生食堂、屋台)				
第 7 回	中国語実践：買い物に関する会話内容(1) (スーパー、コンビニ)				
第 8 回	中国語実践：買い物に関する会話内容(2) (市場、観光地)				
第 9 回	中国語実践：情報通信に関する会話内容 (SNS、インターネット、WIFI利用)				
第 10 回	中国語実践：初対面時の会話 (自己紹介、連絡先交換等)				
第 11 回	中国語実践：中国語による会話や交流のコツ				
第 12 回	中国語実践：キャンパス案内に関する会話内容				
第 13 回	中国語実践：中国語の標識用語				
第 14 回	中国語実践：日中両国のいろいろな相違点				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					

成績評価の方法と基準 (Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への貢献度 (30%) 中国語の小テスト (30%) 期末テストないし期末レポート (40%)	秀：中国語の日常会話が円滑に行える 優：中国語の基礎的な日常会話が行える 良：授業で学習した内容を基本的には理解でき、指示したように学習を行える 可：授業内容の理解が、最低限の水準を満たしている 不可：授業の内容が理解できておらず、指示した学習が行えない、あるいは3分の1を超えて欠席した。
	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 授業で配布するレジユメを中心に行う。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	Youtubeで「超級工程」「致富経」「舌尖上的中国」「一带一路」等の現代中国に関する特集を検索し、視聴してください。
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール連絡 zhang-mingjun@fukuchiyama.ac.jp